

認知症マフ ワークショップ

イギリスの病院や高齢者施設では、認知症の人が毛糸で編まれた筒状のニット製品を利用しているのをよく見かけます。「Twiddle(手でいじる)muff」と呼ばれていて、ボタンやリボンなど、様々なアクセサリーが内外に付けられています。手を通した認知症の人がアクセサリーに触れると、安心感が得られるそうです。

講師は広島県府中町で認知症カフェを運営する認知症サポートグループ「だんだん」のメンバーです。マフの基礎知識から制作、高齢者施設への贈呈までを学びます。

マフ制作が認知症の人を支える地域づくりに役立つことを願っています。



日程 2019年 **9/28**[土] 14:00~16:00
会場 TKPガーデンシティPREMIUM広島駅北口
(広島市東区二葉の里3-5-7 GRANODE広島3階)

参加費
1,000円
(材料費含む)
定員:50人

プログラム

認知症マフとは (14:00~14:05)

朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長・山本雅彦

マフ製作について (14:05~14:20)

「だんだん」代表・伊東裕子さん

組織作りから贈呈まで (14:20~14:40)

広島県府中町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター・檜山亮さん

***** 休憩 (14:40~14:50) *****

ワークショップ (14:50~16:00)

「だんだん」のメンバー ※グループに分かれてマフ製作を体験します。



認知症サポートグループ「だんだん」のみなさん

ワークショップ参加申込書

※複数で参加される場合は代表者のお名前だけ記入ください

ご職業、所属 (団体・会社名など)			
ふりがな 氏名			性別 男・女
住所	〒 _____		
電話番号			申込人数 名

※ご提供いただいた個人情報は個人情報保護規定に従い、当事業団が主催するイベントに関する目的以外には使用しません。

上記申込書にご記入の上、このままファクスで送信してください。

FAX 06-6231-3004

ホームページ、Eメール、はがきでもお申込できます。

ホームページ <http://www.asahi-welfare.or.jp/>

Eメール apply-osaka@asahi-welfare.or.jp

はがき 〒530-8211 (住所不要)

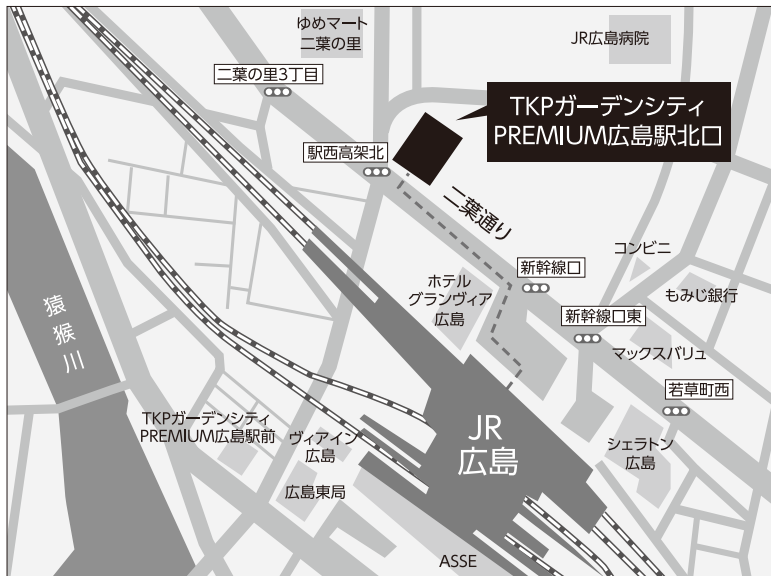
朝日新聞厚生文化事業団「認知症マフ広島」係

※参加決定の方には聴講券を送付しますので、当日ご持参ください。

【会場】 TKPガーデンシティPREMIUM広島駅北口

広島市東区二葉の里3-5-7 GRANODE広島3階

- JR山陽本線 広島駅 新幹線口(北口) 徒歩3分
- JR芸備線 広島駅 新幹線口(北口) 徒歩3分
- JR可部線 広島駅 新幹線口(北口) 徒歩3分
- 広島電鉄 広島駅 徒歩6分



お問い合わせ 朝日新聞厚生文化事業団 電話06-6201-8008